

2018年11月中旬発売

地生態学からみた

# 日本の植生

小泉武栄 著

定価：本体 6,000 円＋税 A5 判 上製 448 ページ

ISBN978-4-8299-6540-5 NDC471

**“植物はなぜそこにあるのか”** 高山のコマクサ、火山のシラタマノキ、太平洋側山地のブナ、河原のカワラノギク、湿原のシデコブシなど、個々の植物の分布には限りがあり、場所が変われば別の種に移り変わる。その謎を地形・地質や自然史をベースに解き明かす‘地生態学’の方法を使い、具体的事例を取り挙げて詳しく紹介。自然全体を「つながり」の視点で読み解くための目の付け所や手順がわかる。

小泉武栄（こいずみ たけえい）

1948年長野県飯山市生まれ。東京大学大学院博士課程単位取得。理学博士。東京学芸大学教授を経て現在、名誉教授。専門は自然地理学、地生態学。著書に『山の自然学』（岩波新書）、『日本の山はなぜ美しい』（古今書院）、『自然を読み解く山歩き』（JTBパブリッシング）、『ここが見どころ日本の山』（文一総合出版）、『登山と日本人』（KADOKAWA）、『日本の山と高山植物』（平凡社新書）など多数。

**高山から低地、河川まで調査事例が満載。  
生態学、ランドスケープエコロジー、林学、自然地理学、  
ジオパークなどの関係者や自然ガイドの必読文献**



## ★本書の特長

- ①日本全国約 30 カ所の自然景観（植生）の成り立ちを解説
- ②地生態学に基づく調査方法やデータを詳しく紹介
- ③自然環境の保全アプローチに関する示唆が満載
- ④多数の図表を駆使した解説
- ⑤自然ガイドの手引きとして活用できる有用で豊富な情報
- ⑥参考となる文献情報が充実

ご回覧ください

|  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|

※表紙はイメージです

文一総合出版

